

令和8年度 京都府立南丹高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>○ 本府における総合学科高校の中核的役割を踏まえ、総合学科の特色を生かした教育活動を推進する。</p> <p>○ 確かな学力と豊かな人間性を基盤とする知徳体の調和のとれた成長を促し、自立した社会人としてたくましく生きる力を育成する。</p> <p>○ 郷土(京都・ロ丹波)に対する親しみと理解を深め、地域に貢献できる人材を育てるとともに、地域から信頼される学校作りに努める。</p>	<p>○「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」を中心とした様々な学びを通して、幅広い資質・能力の育成につなげることができた。</p> <p>○総合知的探究系列では、学年を越えた交流や大学等と連携した事業を行う等、多様な実践を意識し、特色化を図ることを目指した。</p> <p>○テクニカル工学系列では、関係機関との連携を積極的に行うことを意識し、パートナー企業を中心とした協力を受け、幅広い活動を実施した。その成果を生徒募集にどのようにつなげていくかが課題である。</p> <p>○主体的に学ぶ姿勢の育成を目指し、「指導と評価の一体化」について検証を行うとともに、学習用端末の有効活用等、さらなる授業改善への取組を継続する。</p> <p>○学びに対する多様なニーズに応じた支援の在り方を模索しているが、より効果的にするための検討が必要である。</p> <p>○多様な希望進路の実現に向け、基礎学力の向上・定着、より高みを目指す意識の高揚と実現に向けた力を育成について、いかに推進するかを検討が必要である。</p> <p>○部活動活性化、加入率向上に向けた取組を継続・発展させることを意識した。</p> <p>○基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、自他の人権を尊重する意識や態度を育む指導を継続した。</p> <p>○生徒が安心して学べる環境の構築に向け、適宜ケース会議を行う等、生徒の実態の把握に努め、より細やかな指導が求められる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 総合学科の特徴と強みを活かした教育活動の実践を通して、各系列における成果と課題を分析し、系列の見直しも含めた教育課程を検討する。 各系列で学んでいる生徒の様子や卒業後の進路を可視化し、良きロールモデルを示すことで、南丹高校へ入学したいと思う中学生を増やす。 個々のニーズに応じた適切な学びの支援と生徒の興味関心を入口にした授業を導入し、「学校＝楽しい・役に立つ」と上書きするような授業改善を図る。 基礎学力を定着させるとともに、学力偏差値以外の価値観（専門スキル、コミュニケーション力、ボランティア実績など）で評価される入試や就職先の開拓を強化するとともにより高みを目指す意識の高揚と実現のために、難関資格取得や模試の成績向上など多角的な「高み」を認め、称賛する機会（全校集会や広報誌）を増やし、希望進路の実現をサポートする。 主体的に学ぶ姿勢の育成とICTの効果的な活用により生徒の学習意欲を引き出す方法の兼用とともに、公開授業等を実施し、教員同士お互いの強みで補充し合う「チーム南丹」としての授業力向上を目指す。 生徒会活動を活性化させ、本部役員を中心に自分たちの手で学校改革ができる経験（自己決定権）を付与し、学校への帰属意識を高めることで、学校行事や部活動の活性化を図り、部活動加入率向上につなげる。 地域の力を教育活動に活用する工夫を通して、地域に貢献する意識の育成と地域を活性化させる取組を推進し、地域から信頼される学校づくりをする。 高い人権尊重の意識を持ち、多様な価値観の尊重や多様な人々と協働する態度の育成をすべての教育活動において実践する。 基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、いじめの未然防止への組織的対応等により、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることができる生徒の居場所を確保する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	総合学科教育の充実と探究活動の推進	<p>総合学科の特徴と強みを活かした「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」を中心とした教育実践を通して、これからの時代に求められる力を育み、各系列における学びを通して、進路実現につなげる。</p> <p>テクニカル工学系列の学びや取組をさらに発展させ、パートナー企業や地域住民等との連携を深める。また、総合知的探究系列の特色化をより明確にし、校内会議の充実を通して学年を越えた取組等の機会を増やす。</p> <p>スクールミッションに対する3つのスクールポリシーに基づいた教育活動の実践を通して、生徒の満足感を高め、本校の総合学科としての魅力を存分に発信し、広報活動の方法のさらなる工夫により生徒募集につなげる。</p> <p>地域の力をあらゆる教育活動に生かし、地域を活性化させる取組を推進するとともに、郷土愛を育む。</p>		
学習指導 進路指導	基礎学力の定着とキャリア教育の充実による希望進路の実現	<p>個々のニーズに応じた適切な学びの支援を実践するとともに、授業改善に向けた取組を行う。公開授業を積極的に実施し、教員同士が高め合うことで授業力の向上を図る。</p> <p>基礎学力の定着と発展的学力の育成を目指し、学習指導及びキャリア教育を充実させ、入学試験・就職試験につながる力を養い希望進路を実現するとともに、進路先においても能力を発揮できる人材を育てる。</p> <p>ICTを活用した学習活動の実践に向けた研修の機会を充実させ、個別最適な学びと主体的な学びを推進する。また、生徒がデジタル技術を積極的に活用し、責任ある態度で社会に参加できる力を身につけられるよう支援する。</p>		
生徒指導	主体性の育成 社会性の育成	<p>生徒会本部役員等を中心に、生徒たち自らが学校改革に関わることができる機会を提供し、生徒会活動の活性化による部活動や学校行事の充実を通して、生徒の主体的な活動を支援するとともに自己肯定感を高める。</p> <p>人権意識の醸成と様々な人権問題を解決する力を育成し、生徒が安心して学ぶことができる教育環境の構築に努める。ケース会議等を開催し、外部機関との連携も図りながら、生徒一人ひとりに対応した教育活動を推進する。</p>		